

2019年3月期通期決算説明会における質疑応答

2019年5月8日
NEC ネットエスアイ株式会社

日時：2019年5月8日（水） 10:00～11:10

（*今期： 2020年3月期、 前期： 2019年3月期）

質問者 A

Q：成長費用について、前期の20億円に対し、今期はどのくらいを想定しているのでしょうか。また、中計最終年度では、その他/全社消去が今期予想値△115億円から△100億円に改善する計画ですが、この考え方についても教えてください。

A：前期20億円に相当する通常の成長費用は、今期10億円増やし、30億円を考えています。また今期は、これに加えて、自社のイノベーション加速に向けた本社地区のオフィス再編コストとして約20億円を見込んでおり、前述のものと合わせた成長費用は50億円、前年比では30億円の増加を見込んでおります。なお、このオフィス再編コストは、今期の一過性のものですので、中計最終年度のその他/全社消去が今期予想値から15億円改善する要因となっております。

Q：エンジニアリング&サポートサービス事業は、収益性が大きく改善する計画となっておりますが、これは、前期不採算の改善が出来れば達成できるものなのでしょうか。

A：不採算改善も約10億円見込んでおりますが、その他にリソースの集約により、前期まで課題であったリソース分散による不効率の解消や、個々の事業のポラティリティに対するリソースコントロールを高めることが出来ると考えています。また、過去からも収益性改善に効果があった技術者のマルチスキル化を進めて行きます。今回、技術リソースを集約した上で、それをさらにマルチスキル化することで大幅な収益性改善に繋げていきます。加えて、新しい事業による寄与なども見込んでいます。

Q：ネットワークインフラ事業の受注高について、今期+8%の成長を計画されていますが、通信事業者における料金値下げの影響が懸念される中、どのような分野を伸ばしていくのか、受注高の考え方について教えてください。

A：KDDI株式会社との合併会社であるK&Nシステムインテグレーション株式

会社の売上貢献が今期から本格化することに加えて、海洋事業の伸長も織込んでおります。なお、5Gについては、まだ不透明な部分があるため、大きな数値は見込んでおりませんが、今後コアネットワーク領域において5Gマイグレーションの需要が出てくると考えております。

Q : K&N システムインテグレーション株式会社の売上が伸長するのは通信事業者の設備投資額の拡大によるものなのでしょうか。それともシェアの拡大によるものなのでしょうか。

A : どちらかというところではシェア拡大による売上拡大を狙っています。

以 上